

堅牢な構造を維持しつつ間取りを大幅変更

兵庫県 N様邸

■若い夫婦の暮らしに合う間取りに変更

ご夫妻は美家の敷地に建ち、しばらく空家となっていた築23年のツーバイフォー住宅を、子供の誕生に備えてリフォームし、新居とされました。若夫婦のライフスタイルに合う間取りに変更するため、全面リフォームとなりましたが、耐力壁は残し、構造的なバランスは崩さないという方針で、暮らしやすく、長く住み続けられる家へと再生されました。家族が増えることを考慮して、大きなLDKを創出。大空間に現れた耐力壁はリビングとサニタリーの仕切りに活用しました。また、玄関の位置を変えて収納スペースを増強。シューズインクロークを設け、ホールにもクロークを確保しました。各室の窓は断熱サッシ・LOW-E複層ガラスに入替え、快適性と省エネ性を高めることができました。

■育児や来客に多目的に使える和室を増築

ご夫妻が希望された和室は、LDKにつなげて増築(約10㎡)し、和モダンな設えに。子供の昼寝やアイロン掛けなど家事をする場として、またゲストルームとしても多目的に使うことができます。その上階にはインナーバルコニーを設置しました。

リフォームのプロが語る

構造バランスをとれば 間取り変更も増築も提案可能

福山住宅(株) 営業部
ハウジングプロデューサー
石本 吉秀さん



ツーバイフォー工法の家は大幅な間取り変更が難しいといわれますが、耐力壁区画に留意して耐力壁は極力残し、「この壁は撤去でき、こう補強すれば大空間が確保できる」と、提案することが可能です。耐力壁を移動させる場合でも、構造ルールに適合したリフォーム設計を行うことにより、堅牢な構造躯体を維持することができます。また、増築を伴う場合でも、増築区画と既存区画との屋根仕

舞いや小屋組みの構造、外壁の接続部分などについて熟考し、将来的なメンテナンスを踏まえたリフォーム計画を立てることを心掛けています。

これからもツーバイフォー住宅の耐震性・耐久性を活かし、住み手のライフスタイルに合うリフォーム提案を行い、世代を超えて住み継がれていく家づくりを目指します。



下地材等を取り除いて構造チェックを行い、安全性を確認したうえでリフォームが進められた。

2階の音楽室。バンドを組んでライブ演奏をされているご主人が、家で気兼ねなく練習できるように防音仕様になっている。



玄関は北東の角に移設された。シューズインクロークがつくられ、家族専用の動線が確保された。ホール正面にもクロークが設置されている。



主寝室にはカウンターや大きなウォークインクローゼットが設けられた。北側には約10㎡のインナーバルコニーが新設された。増築された和室の上階に当たる。



Before

以前の玄関は勝手口に変更された。



Before



Before

以前の和室の開口を活かして玄関が移設された。右手の突き出たところが増築部分である。



Before



手前がリビング、奥が12畳の和室

北西の角のリビングを広げてゆったりとしたLDKに生まれ変わった。対面式キッチンが採用されているので、リビングから増築した和室までぐるりと見渡すことができる。キッチンカウンターのサイドに立つ耐力壁は、階段・サニタリーとの仕切り・目隠しとして活用されている。テレビ背面のアクセントウォールには調湿機能を持つ建材を使用。



北側外観

DATA

リフォーム年 / 2013年
築年数 / 23年
規模 / 地上2階
リフォーム面積 / 117.93㎡ (35.67坪)
増築面積 / 26.09㎡ (7.89坪)
建物面積 / 143.02㎡ (43.26坪)
設計・施工 / 福山住宅(株)

After
Before

After
Before

2階の主寝室

西側にあった玄関